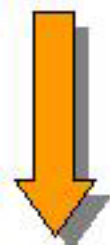


循環型社会の構築を目指して —リサイクル時代を支える静脈物流システム—

20世紀:大量生産、大量消費、大量廃棄型社会の定着により
人類の活動の飛躍的拡大



➡ 環境への負荷が自然循環による吸収・軽減の限界を超え、
公害等の環境問題を発生

21世紀:循環型社会への転換が不可避

循環資源の特徴と臨海部のポテンシャル

循環資源の特徴

『廃棄物のうち有用なもの』

- ①規模の経済による効率化
- ②急がない貨物



臨海部のポテンシャル

- ①用地確保
- ②物流基盤のストック
- ③生産施設の立地

港湾を核とした総合的な静脈物流システムの構築

海上輸送による静脈物流の現況

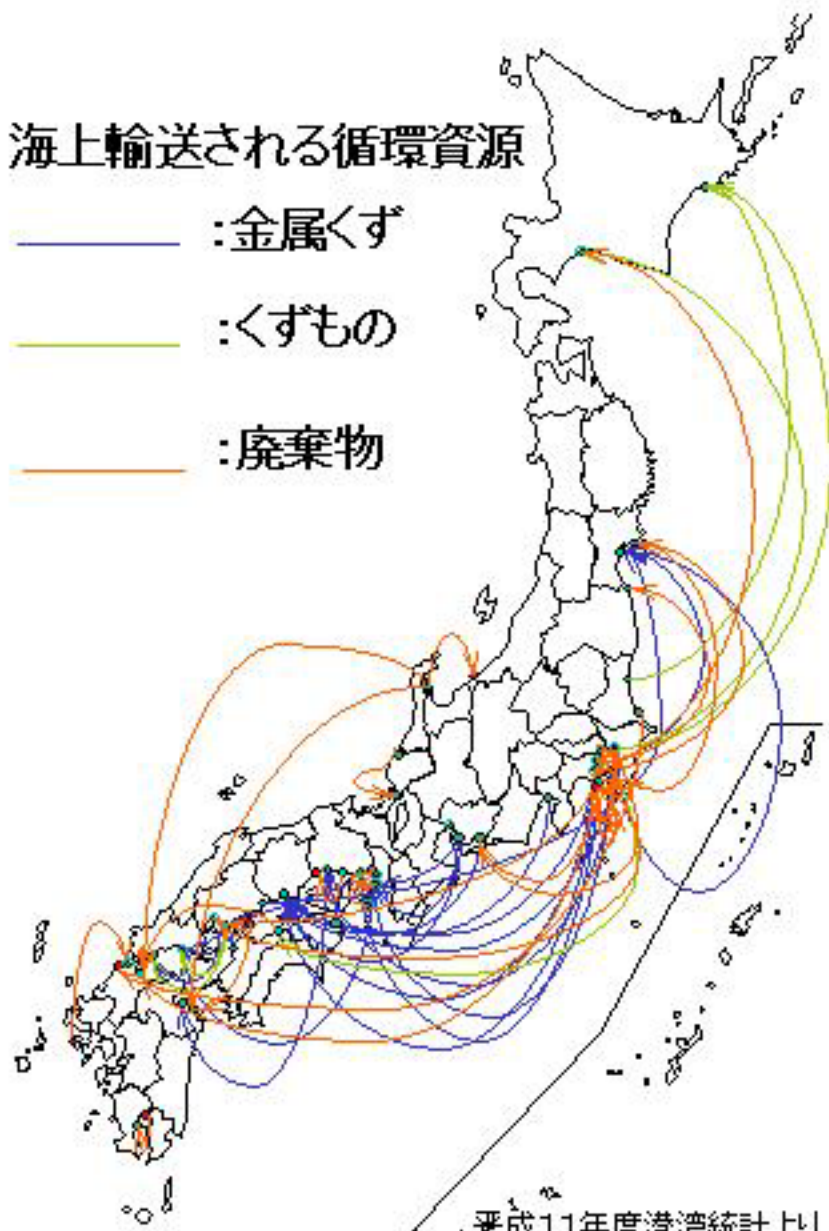
リサイクル・生産施設の
立地状況

- : 製紙工場
- △: セメント工場
- ×: 製鉄所
- ◎: 非鉄金属精錬



海上輸送される循環資源

- (blue line): 金属くず
- (green line): くずもの
- (orange line): 廃棄物



平成11年度港湾統計より
(年間5万トン以上の輸送量対象)